

## 受賞おめでとうございます

- ◇東京都功労者表彰 地域活動功労者  
山本 幸男（下丸子東町会）
- ◇大田区青少年対策地区委員会 永年功労者表彰  
門脇 良（下丸子三丁目町会）  
竹迫 浩一（多摩川ハイム自治会）
- ◇献血功労者東京都知事感謝状  
大田区赤十字奉仕団矢口地区連合分団
- ◇矢口消防署感謝状  
下丸子東町会
- ◇全国民生委員児童委員連合会会長表彰  
永年勤続民生委員児童委員表彰 一般功労賞  
川端 信代（矢口南町会）  
森 章博（矢口南町会）  
北田 四郎（矢口二丁目16号館自治会）  
前田 美香（ザ・リバープレイス自治会）
- ◇秋の褒章・藍綬褒章受賞  
折笠 弘幸 矢口消防団副団長（今泉自治会）

## 東急線沿線歴史講座

10月31日（金）大田区民プラザで大田区教育委員会文化財担当の田島太良学芸員を講師に迎えて開催されました。

大田区内東急線沿線は、宅地開発と鉄道敷設との同時進行で発展、鉄道会社3社で別々に敷設された路線は、多くの紆余曲折を経て戦後東急線に統一されたことが紹介されました。

沿線各地域は鉄道網展開と関東大震災を契機に大きく発展、下丸子・矢口地区は独自に区画整理を行って工場を誘致、神奈川県側で精製されたガスを都内へ供給するべく人道橋・ガスパ併設でガス橋が架設されました。

また、地域独自の文化や景観が時代をこえて残っていることなども述べられました。

今では同じ車両を使用して仲良く蒲田駅に乗り入れる池上線と多摩川線（旧目蒲線）が、かつて呉越同舟であった歴史は、矢口地区居住者として非常に興味深く拝聴しました。

### 二十一世紀桜まつり

日時：令和8年3月29日（日） 9時45分～15時

会場：大田区民プラザ

★フリーマーケット出店者募集★

対象：①矢口特別出張所管内在住・在勤で18歳以上（1世帯1区画のみ）

②3月15日（日）開催の出店者説明会に参加できる方  
出店料 500円 申込期限 2月10日（火）必着  
申込方法 下記の二次元コード、往復はがき（抽選）  
詳細は回覧チラシや掲示板、ホームページをご確認ください。



←申込入力フォーム



←HP

## 民生委員児童委員が改選されました

- ◇退任された方々  
長い間お疲れさまでした  
川端 信代（矢口南町会）  
北田 四郎（矢口二丁目16号館自治会）  
平林 宣子（下丸子東町会）  
桑本 雅江（下丸子東町会）  
桑村 好子（下丸子東町会）
- ◇新任の方々  
よろしくお願ひします  
広川 恵美子（矢口南町会）  
桑田 優子（下丸子東町会）  
秋井 利幸（下丸子東町会）  
小田 房枝（下丸子東町会）  
富澤 多幸（東京サーハウス自治会）

## 多摩川小学校 創立70周年

多摩川小学校は今年度、開校70周年を迎えました。「矢口地域“笑顔”プロジェクト」と題し、様々な取組を実施しています。大田区ならびに矢口地域の皆様の御支援・御協力をいただきながら、航空写真の撮影や夏祭りへの参加、武蔵新田商店会街灯旗の作成、記念式典・祝賀会・フェス70祭の開催、70周年記念誌の作成や校旗の新調等を行いました。

こどもたちは大田区の独自教科「おおたの未来づくり」の学習や多摩川河川敷を活用した学習活動等を行い、今後も“笑顔”を追究すると共に、地域の発展のために健やかに成長していきます。（校長 福地 伸）



こどもたちによる人文字  
（航空写真）



新しい校旗

お知らせ

・矢口ファミリープラザ2026

日時：令和8年2月8日（日） 12時～16時（予定）

場所：大田区民プラザ大ホール

## 編集後記

令和7年の漢字は「熊」でした。パンダの中国返還、熊被害が多い年でした。野生動物と人間の境界線が曖昧になった今、安心して暮らせる日々が戻ることを願うばかりです。

令和8年の干支は「馬（午）」60年に一度の丙午（ひのえうま）、矢口トークも力強いパワーを発揮して、明るい一年になることを祈るばかりです。

（古市町会 吉田 由香利）



発行 地域力推進矢口地区委員会  
編集 矢口トーク編集委員会  
事務局 矢口特別出張所地域力推進係  
〒146-0093 大田区矢口2-21-14  
電話(3759)4686 FAX(3759)1492  
ホームページアドレス  
[https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts\\_yaguchi](https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts_yaguchi)

矢口特別出張所管内の人口（1月1日現在）

人口	44,471名	世帯	24,335世帯
----	---------	----	----------

## 皆様 新年おめでとうございます

矢口地区自治会連合会会長 山本幸男

皆様方には令和8年の新春を恙無くお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は矢口地区自治会連合会の事業・行事にひと方ならぬご理解とご協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて顧みますと、昨年も私達が住む日本列島は自然災害が多発した一年間でした。

全国的に気温が40℃を超える日が続出し、大型台風が多発し、各地に被害をもたらしました。「過去に経験がない」「最大級の大きさ」などの言葉が当たり前のように使われ、地球の温暖化はもう後戻りが出来ないところまで来たようです。災害への備え、防災への備えは私達、自治会・町会にとって日常的に取組むべき重要な課題であります。大切なことは、行政と住民が正面から向き合い、互いに情報を共有することにあります。

自然との共生に皆さんの経験と知恵を生かしましょう。自治会・町会活動の目的とするところはそれぞれの立場で、地域力の向上に努め安心安全な住み易い「まちづくり」を実現することにあります。

今年も矢口地区自治会連合会は、18の自治会・町会の地域の絆を深める目的で「第十五回二十一世紀桜まつり」を来たる3月29日（日）に開催すべく準備を進めています。どうぞご期待下さい。

皆様方のご健勝とご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。

## 令和7年度「双盤念仏」特別公開

11月9日（日）東京文化財ウィーク2025の一環として、東京23区唯一の無形民俗文化財に指定されている今泉延命寺双盤念仏の特別公開が行われました。

講堂で大田区教育委員会の黒仁史教育長からの来賓祝辞に続き、田島太良学芸員による、双盤念仏の沿革・延命寺双盤講の特徴・今後の展望等の講話、大田区文化財保護審議会の坂本要会長による神奈川県の双盤念仏の特徴が紹介され、手拍子による鉦叩き体験の事前練習を行いました。

本殿へ移動、延命寺樋口威道住職による礼讃（読経）に続いて演奏が始まりました。

鉦と太鼓との絶妙な掛け合い的ハーモニーに聴き入り、演奏は演奏者の歌声主体から鉦叩き主体へと移ります。とりわけ終盤に近い「雷落とし」と呼ばれるクライマックス演奏での鉦の音は「耳がおかしくなる」との逸話も生まれるほど筆舌に尽しがたい、心身ともに清められる感動を味わいました。万雷の拍手をもって演奏は終了、参加者による鉦叩き体験に移りました。

今回は「双盤念仏の娯楽的要素」に鑑み、延命寺では初の試みとして、矢口地区自治会連合会山本幸男会長が唄う「東京音頭」に合わせて演奏が行われ、会はお開きとなりました。

令和8年3月29日（日）に行われる「第十五回二十一世紀桜まつり」で演奏を予定しています。



集合写真



演奏中



演奏中

矢口トークは「みんなで話し合って、明るく楽しい町づくりをしていきましょう」という意味を込めてつけました。